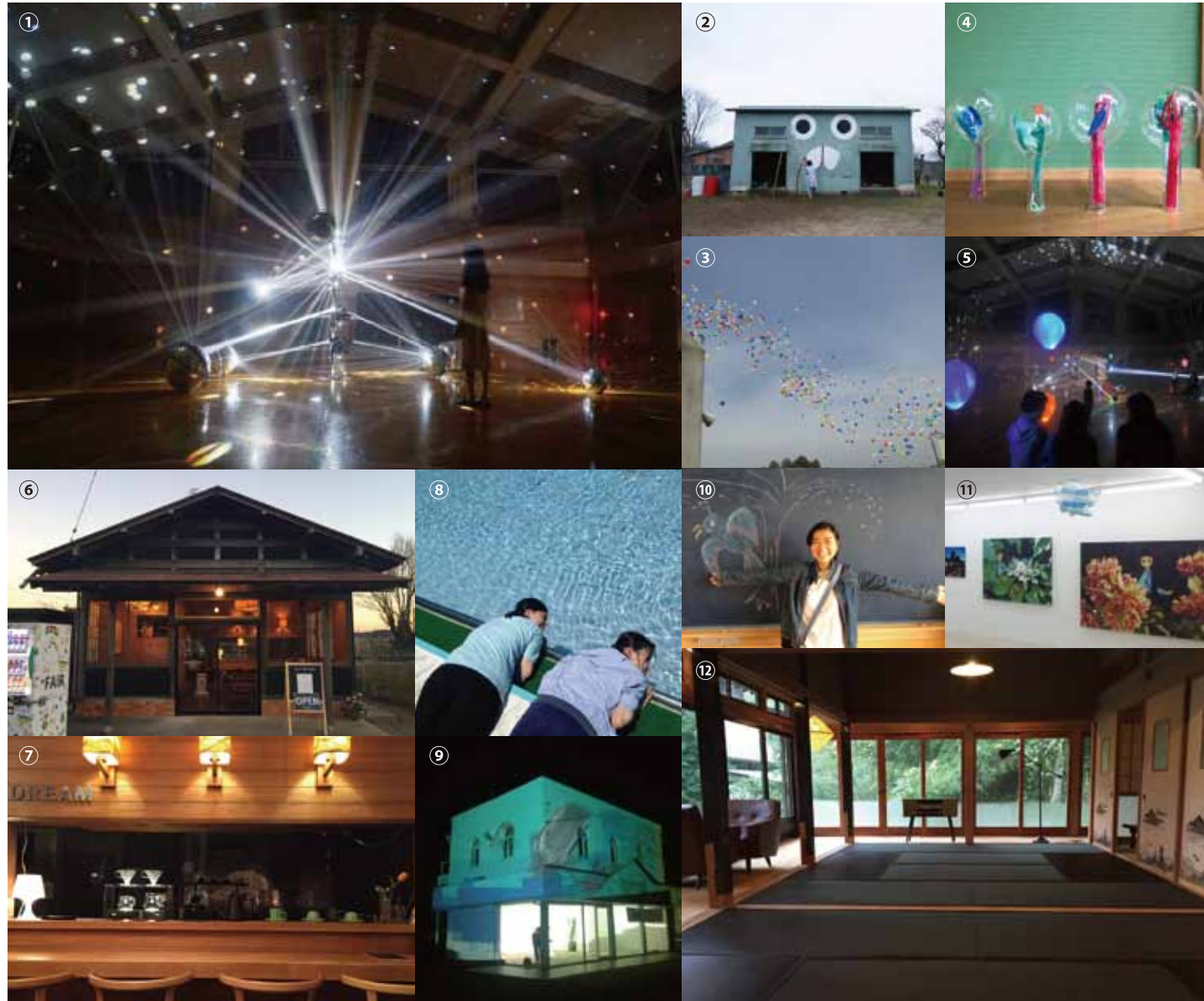


アーカイブ写真で見る
NARITA初の現代アートプロジェクト「ふわりの森」の全て。

NARITA初の
現代アート
特集



①「cosmic tree」@ 旧酒直小学校
ふわりの森の中核となるアーティストインレジデンス（芸術家が自身のスタジオ以外の土地で滞在、制作活動を行うこと）プログラム 2015 年招聘アーティスト、足立喜一郎による小学校の体育館全面を使用した大型アート作品。

②③④⑤⑥「SAKANA O139 記憶美術館」
2015 年 3 月 28 日に閉校となった栄町の酒直（さかなお）小学校の最後の一年間、アーティストと生徒が小学校の記憶を美術館にして未来に繋いだ現代アートと地域のコラボレーション。139 年の歴史を持つ酒直小学校の「記憶、気配」をテーマに本校出身のシムラユウスケがプロジェクト「SAKANA O139 記憶美術館」を手がける。様々なアーティストが参加し、アーティストと子どもたちが作品を制作。校舎そのものを「記憶美術館」として完成させた。「閉校後も子どもたちが集まり、夢や未来を自由に描ける場としてさかなお小

学校が在ること」「10 年後に子どもたちが集まれる環境を地域で維持すること」をコンセプトに新しい創造の場が開かれた。

②「SAKANA O139 記憶美術館」
生徒と一緒にグラウンドや小学校全体をアート作品にした夏の記憶美術館（アーティスト小中大地）。

③「閉校から 1 年」
体育館でアーティスト足立喜一郎の銀河をイメージしたインスタレーションと、シムラユウスケの Dream mapping による光の空間を発表し、母校に子どもたちが戻り駆け回った。

④⑦「artcafe TOAST AND HONEY」
JR 下総松崎駅から徒歩 30 秒。現代アート作品が並ぶ毎週末限定オープンのアートカフェ。シムラユウスケが内装、デザインを手掛け、1st place 自宅、2nd place 職場に続く創造的な交流が生まれる場所「サードプレイス」がコンセプト。オリジナルのコーヒーはファイヤークッキング、アンティーク食器で。

⑧「DOLPHIN POOL daily sound」
子どもたちが音とアートとプールを楽しみながら学べる教育プログラム。アーティストと町営プールがコラボし、水中でイルカの鳴き声が聞こえるドルフィンプールを制作。

⑨「GALLERY FAIR」
下総松崎で長年使用されていなかった空き店舗を改装したアーティストインレジデンス、ギャラリースペース。2014 年「ふわりの森」プロジェクトはここから始まった。写真は海外のアーティストによるプロジェクトマッピング。

⑩⑪「佐藤玲（カイカイキキ）」
アーティストインレジデンスプログラム第一弾では、日本を代表する現代アーティスト・村上隆率いるカイカイキキ所属の佐藤玲を招聘。「SAKANA O139 記憶美術館」にも参画し、酒直小学校で子どもたちの作品制作も行った。

⑫「ARTSTAY maison FUWARI」
現代アートプロジェクトのある集落に ART STAY（滞在・宿泊）するホテルプロジェクトとして 2016 年 7 月にオープンした「ART STAY/Maison "Fuwari"」。シムラユウスケディレクションのもと平屋の日本家屋がリノベーションされた。

詳細は <http://www.fuwarinomoriart.jp/>

artcafe TOAST AND HONEY（トーストアンドハニー）
千葉県成田市大竹 295 TEL なし
【OPEN】金 12:00~22:00、土 12:00~24:00、日・祝 12:00~22:00
【CLOSE】月~木（祝日の場合は営業）
【最寄り駅】JR 成田線「下総松崎駅」より徒歩 30 秒

NEXT !
NEXT !
NEXT !

東南アジアで最も影響力のある現代アーティストの一人。
「ローレイ」from タイ
10 月 11 月の成田（ふわりの森）滞在が遂に決定！
作品の制作や交流を行います。詳しくは次号ロク10月号で。



人と人を繋ぎ、人と夢を結ぶアーティスト
世界の空へ DREAM を発信

国内外で活躍するアーティスト「シムラユウスケ」。彼が幼少期を過ごした場所でもある成田でディレクターをつとめているアートプロジェクトについて聞いてみた。

「ふわりの森」は成田国際空港を拠点にするランドアートプロジェクトです。NARITA 初の現代アートの拠点になっています。

国内外で活躍するアーティスト「シムラユウスケ」。彼が幼少期を過ごした場所でもある成田でディレクターをつとめているアートプロジェクトについて聞いてみた。

始めたきっかけは？
これまで東京、ニューヨーク、北欧、アジアで活動し、新しく現代アートの発信拠点を成田に開きました。自身が空港圏の出身であることからルーツと世界が繋がる場、発信拠点をアーティスト主体で創ること、成田国

際空港を開く森を空港から繋がるアートフィールドに創る中で「人の夢とはなにか」を作品化した」と想いスタートしました。「ふわり」は自身の作品の中に登場するドローイングキャラクターの名前で、描いた設計図（ドローイング作品）がリアルに森の中で出来上がっています。

具体的なにはどういう活動を？
プロジェクトの中核にはアーティスト・イン・レジデンスプログラムを持っています。これは様々なアーティストがこの地に滞在し、制作、交流、発表を行い作品を残していきます。2014 年にはカイカイキキから佐藤玲を招聘し 2015 年、2016 年にも国内外で話題の様々なアーティストが滞在し最新の作品を発表しています。

これからどこに向かっていく？
2020 年空港都市国際芸術祭「ふわりの森 ART PARADE」開催に向けて進んでいます。この芸術祭は 2020 年までの地域との協働アーカイブでもあり、空港圏に国内外のアーティストが集まり最新の作品を発表します。

人と人が夢の話をし、最先端の夢がうまれる場所として、アート作品を鑑賞するだけではなく、アーティストとの時間を共有できる他にはない場所にしていきます。

これからの森 ART PARADE
2020 年空港都市国際芸術祭「ふわりの森 ART PARADE」開催に向けて進んでいます。この芸術祭は 2020 年までの地域との協働アーカイブでもあり、空港圏に国内外のアーティストが集まり最新の作品を発表します。

シムラユウスケ
アーティスト、ふわりの森アートプロジェクト ディレクター



エリアプログラムでは「ルーツ」を軸にアーティストと子どもがタッグを組み地域で未来をつくる「記憶美術館」を制作（栄町）。空港圏で相次ぐ少子化での閉校に対し、地域でアーティストとの時間を共有し、未来に残る記憶のアート作品を創り出しています。そして空港からアクセスできて、現代アートを体感できるエリアとして成田空港から 2 駅、下総松崎にギャラリー、現代アートとコーヒーのアートカフェ「TOAST AND HONEY」、日本家屋をリノベーションしたホテルプロジェクト ARTSTAY maison FUWARI を開き、アーティストがいるエリア、これまでになかったアートエリアを形成しています。



シムラユウスケ PROFILE
1981 年生まれ。現代アートの新しい担い手として、写真、ドローイング、インタラクティブアートを国内外で発表し、国内 2 都市のアップルストアによるシムラユウスケ特集、雑誌「TOKION」のニューヨーク特集、「装苑」の国内外で活躍する次世代の 6 人に取り上げられるなど様々なメディアから注目を集めるアーティスト。東京、ニューヨークを拠点に PORTER（吉田カバン）との「YUSUKE SHIMURA TOKYO NEWYORK supported by YOSHIDA&CO.」をはじめ、北欧、中東、アジアでの制作、作品を発表。2014 年には海外に加え幼少期から育った国内（千葉県成田市・栄町）に拠点をもち、成田国際空港を中心に広がる大自然をフィールドに空港圏初の現代アートの拠点「ふわりの森アートプロジェクト」をスタートする。www.yusukeshimura.com

NARITA初の
現代アート
特集